

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語 I A
科目基礎情報					
科目番号	0018	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科	対象学年	1		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	教科書PROMINENCE English Communication I Revised (東京書籍) / 補助教材 PROMINENCE English Communication I WORKBOOK Task Based (東京書籍)・PROMINENCE English Communication I 予習ノート (東京書籍)・ジーニアス英和辞典第5版				
担当教員	福田 昇				
到達目標					
(科目コード00271英語名: English 1A) ①英単語・熟語の意味、英文法・構文を理解し、それらを使用できる。 ②英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることができる。 ③英語を通じて、情報や考えを的確に理解し、伝えることができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル	未到達レベルの目安	
評価項目1	単語・熟語および英文法・構文を十分に理解し、それらを使用できる。	英単語・熟語の意味、英文法・構文を理解し、それらをあまり間違えることなく使用できる。	英単語・熟語の意味、英文法・構文をほぼ理解し、それらを時々間違えながらも使用できる。	左記に達していない。	
評価項目2	英語でコミュニケーションを図る態度を身につけることができる。	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度が見受けられる。	左記に達していない。	
評価項目3	英語を通じて、情報や考えを的確に理解し、相手にきちんと伝えることができる。	英語を通じて、情報や考えを理解し、あまり間違えることなく相手に伝えることができる。	英語を通じて、情報や考えをある程度理解し、間違えながらも相手に伝えることができる。	左記に達していない。	
評価項目4	英語を通じて、異なる文化的な背景を持つ多様な国際文化を十分に理解できる。	英語を通じて、異なる文化的な背景を持つ多様な国際文化を理解できる。	英語を通じて、異なる文化的な背景を持つ多様な国際文化をほぼ理解できる。	左記に達していない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	中学校での学習内容をふまえて、英語の「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」の技能を総合的に伸ばす。本科目では、検定教科書を用いた普通高校1年生の学習指導内容であり、高校1年生で身につけておきたい英語の語彙・文法を中心に学ぶ。				
授業の進め方・方法	授業は検定教科書の内容に準拠し進める。特に授業の導入部分ではアクティブラーニングを導入し、英語4技能を伸ばすための実践をする。教科書の本文を理解するだけにとどまらず、読んだり聞いたりした英文についての問いや、その内容に関する考えやアイデアを発表する場面がある。ペア・グループ活動も多く取り入れるので、日本語においても他人とコミュニケーションをする能力がある程度必要である。授業の予習など、準備をしっかり行うことが厳しく求められる。				
注意点	教科書のほか、補助教材(WORKBOOK Task Basedおよび予習ノート)は授業中に使用するので必ず持参のこと。辞書は、ジーニアス英和辞典第5版(大修館書店)の使用を強く推奨する。新しく購入する学生は用意すること。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction, 授業の進め方について 春休み課外テスト	入学時英語テスト内容の理解	
		2週	Lesson 1: We are together	[題材内容] 共生について学ぶことができる [言語材料] 文構文、to不定詞、動名詞 [言語活動]	
		3週	Lesson 1: We are together	前週と同様	
		4週	Lesson 1: We are together	同上	
		5週	Lesson 2 :Animal Emotions	[題材内容] 共生について学ぶことができる [言語材料] 現在完了形、節を指す形式主語、受け身 [言語活動] この単元で学習したことを英語で表現する。	
		6週	Lesson 2 :Animal Emotions	同上	
		7週	前期中間テスト・発展授業	既習事項の内容確認/ この単元で学習したことを英語で表現する。	
		8週	Lesson 2 :Animal Emotions、テスト返却・解説	前週と同様	
	2ndQ	9週	Lesson 3:One Ocean, One People	[題材内容] 異国と日本の違いを発見できる [言語材料] 関係代名詞、分詞の後置修飾、助動詞 [言語活動]	
		10週	Lesson 3:One Ocean, One People	前週と同様	
		11週	Lesson 3:One Ocean, One People	前週と同様	

		12週	Lesson 4: Landfill Harmonic	[題材内容] 異国と日本との違いを発見できる [言語材料] 使役動詞、知覚動詞、過去完了形、S+V+(=whatなどで始まる節) [言語活動]
		13週	Lesson 4: Landfill Harmonic	前週と同様
		14週	Lesson 4: Landfill Harmonic	前週と同様
		15週	前期末テスト前の総まとめ	既習事項の内容について理解する
		16週	前期末テスト	試験時間：50分
		17週	試験解説・発展授業	
後期	3rdQ	1週	Lesson 5: Katsushika Hokusai , A Japanese Genius	[題材内容] 日本や日本の文化について紹介することができる。 [言語材料] 句を指す形式目的語のit、関係代名詞の非制限用法、未来完了形 [言語活動]
		2週	Lesson 5: Katsushika Hokusai , A Japanese Genius	前週と同様
		3週	Lesson 5: Katsushika Hokusai , A Japanese Genius	前週と同様
		4週	Lesson 6: A Strange but True Superhero	[題材内容] 日本や日本の文化について紹介することができる。 [言語材料] 関係副詞、to不定詞の意味上の主語、仮定法過去 [言語活動] 前半元と同様
		5週	Lesson 6: A Strange but True Superhero	前週と同様
		6週	Lesson 6: A Strange but True Superhero	前週と同様
		7週	後期中間試験	既習事項の内容確認
		8週	試験解説・発展授業	既習事項の内容確認 / この単元で学習したことを英語で表現する。
	4thQ	9週	Lesson 7: What's an Ig?	[題材内容] 日本の科学技術について紹介することができる [言語材料] seemなどの動詞、S+V+O+O(O=that節)、S + suggestなど+that+S+V (V=動詞の原形) [言語活動]
		10週	Lesson 7: What's an Ig?	前週と同様
		11週	Lesson 7: What's an Ig?	前週と同様
		12週	Lesson 8: The State-of-the -Art Origami Engineering	[題材内容] 日本の科学技術について紹介することができる [言語材料] 分詞構文、S+br動詞+C(C=that節)、仮定法過去完了 [言語活動] 相手に分かりやすく手短かに伝えられるように要約文を書き、発表活動を行う。
		13週	Lesson 8: The State-of-the -Art Origami Engineering	前週と同様
		14週	Lesson 8: The State-of-the -Art Origami Engineering	前週と同様
		15週	後期末試験前の総まとめ	既習事項の内容について理解する
		16週	後期末テスト	試験時間：50分
17週	試験解説・発展授業			

モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3		
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習		関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合					
	試験	小テスト	態度・提出物	プレゼン	合計
総合評価割合	60	10	20	10	100
基礎的能力	60	10	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0